

王安憶文学作品における上海語研究(4)

—『流逝』(その4)—

吉田陽子

『流逝』について(第2章28頁～第4章40頁)

頁-行	下線の語彙—上海語 ローマ字—上海語の発音	説明 (文章の翻訳)、(共通語)
28頁-2行 (以下「28-2」と略す)	“ <u>笃笃笃</u> ，小白兔在家吗？”咪咪换了个花样。 笃笃笃(dokdokdok)	(「とんとんとん、兎ちゃんは家にいますか？」と咪咪はあの手この手と策を変えた。) 笃笃笃:とんとんとん(擬声語)。 笃笃笃=〈咚咚咚〉
28-15、16	于是，喂饭就成了一 <u>桩</u> 十分热闹的把戏。 桩(zàn)	(このように、ご飯を食べさせることはとても賑やかな寸劇となった。) 桩:事柄を数える助数詞。桩=〈件〉
29-3～5	公公病假在家，坐在唯一一张红木太师椅上，脸板得铁青，对着婆婆发脾气：“他不是去死，这么哭法子做啥？” 哭法子(kokfakzi)	(義父は、病気休暇で家にいて、唯一の唐木の太師椅 ¹ に座って、顔を真っ青に強ばらせて、義母に、「あの子は死に行くのではない。何でこんなに泣くんだ？」と怒り出した。) 哭法子:泣き方。哭法子=〈哭法〉
29-6、7	“不是死，是充军！”婆婆说，“冤家，你是自讨苦吃，总有一天要后悔，后悔也来不及了。” 充军(cònjūn) 冤家(yuèugà)	(「死ぬのではないが、遠い僻地へ行くんだ！」と義母が言った。「このろくでなしの子よ、自ら難儀なことを求めて行くなんて、いつか後悔するでしょう。その時後悔しても、もう遅いんだよ」と言った。) 充军:遠い僻地へ行く。充军=〈上山下乡〉 冤家:ろくでなしの子。
29-8、9	“你让他去！我看他是忒无聊了。”公公说罢，站起身来走了出去。 忒(tek)	(「あの子を行かせてやれ！あの子は退屈でたまらないようだ」と、義父が言い終わると、立ち上がって外へ出て行った。) 忒:とても。忒=〈太〉
29-14～17	想了一想，她弯下腰扶住婆婆：“姆妈，你不要太伤心，你听我讲。弟弟这次被批准，说不定是好事体。说明领导上对他另眼看待，会有前途的。” 姆妈(m<I声)mà) 好事体(hāozhítì)	(暫く考えてから、彼女は腰を下ろして義母を助け支えて、「お母さん、悲しみすぎないように。話をお聞き下さい。この度義弟が許可されたのは、良いことであるかもしれません。責任者が義弟のことを特に目をかけてくれたことが分かります。あの子はきっと有望ですよ」と言った。) 姆妈:お母さん。姆妈=〈妈妈〉 好事体:良い事。好事体=〈好事情〉
29-22、23	婆婆擦了擦眼泪：“一下子跑到	(義母がちよっと涙を拭いて、「いきなりあんな遠い

1 よりかかりと腕かけが半円形になっている旧式木製椅子。家長が使う。

	那么远的地方，喊也喊不 ^レ 应了。好好的一份人家，一下子拆成天南地北的。” 喊(hāe)	ところへ行ってしまう、会いたくても会えなくなる。家族のそろった一家なのに、いきなり遠くへと引き裂かれてしまう」と言った。) 喊:呼ぶ。「喊不 ^レ 应」は、【喊勿 ^レ 应 hāevěkyìn】のように使われており、可能補語を付加した用法。) 喊不 ^レ 应 = 〈叫不 ^レ 应〉
29-26、27	“我不要他干什么事业，只要人保 ^レ 牢就行了。”说着又潸然泪下，文影跟着哭了。 保牢(bāoláo)	(「あの子には何も立派な仕事をしてくれなくてもよい。自分自身さえしっかりと守ることができればそれでよいのだ」と、またさめざめと涙を流し、文影も一緒に泣いた。) 保牢:しっかりと守ること。(【保 ^レ 保 ^レ 牢 bāobāoláo】は、重ね型の用法。) 保牢 = 〈保 ^レ 住〉
30-14、15	列好单子，端丽又划分一下，哪些家里是现成的，哪些则需要去买。毛估估，起码要两百块钱才能把他送上“革命征途”。 毛估估(máogūgū)	(リストを作ってから、瑞麗はまたどの物が家にあるか、どの物を買うべきかをちょっと分けた。大まかに見積もったところ、少なくとも200元あるとやっと義弟を「革命出征の途上」へ送り出すことができる。) 毛估估:。大まかに見積もる。 毛估估 = 〈粗略估计〉
30-20~22	“姆妈，先别忙。我想可以到公公单位去申请一下，去黑龙江是革命行动，理应支持。” 姆妈(m<I声>mà)	(「お母さん、慌てないで下さい。お父さんの職場へ申請しに行くことができますと思います。黒竜江省へ行くことは革命的な行動であり、援助してくれるはずですよ」と。) 姆妈:上記「29-14~17」に同じ。姆妈 = 〈妈妈〉
31-1、2	本来没有什么大指望，得了这些钱如同发了横 ^レ 财一般高兴。 发横财(fākhhuánzhái)	(元々大きな期待はしなかったので、これらのお金をもらえたため、ぼろもうけをしたように嬉しかった。) 发横财:ぼろもうけをする。发横财 = 〈赚大钱〉
31-15	“我自己也不大清楚，也许爹爹倒说对了，是忒 ^レ 无聊！” 忒(tek)	(「私自身もあまりよく分からない。父さんが言った通りかもしれない。退屈でたまらないからだ!」と。) 忒:上記「29-8、9」に同じ。忒 = 〈太〉
31-18	端丽不 ^レ 响 ^レ 了。 响(xiān)	(端麗は黙り込んだ。) 响:話をする。不响 = 〈不作声〉
31-19~23	走了一段，文光轻声说：“不知怎么搞的，我常常感到无聊呢！我不晓 ^レ 得人活着是为了什么。真的，人活着究竟为了什么？”……“天晓 ^レ 得。”端丽说。 晓得(xiāodek) 天晓得(tixiāodek)	(暫く歩いて、文光は小さな声で、「どういふ訳か、僕はよくつまらないと感じている。人は何のために生きるかが分からない。本当です、人は一体何のために生きているのでしょうか?」と言った。…「誰にも分からない」と端麗は言った。) 晓得:知る。晓得 = 〈知道〉 天晓得:誰にも分からない。 天晓得 = 〈老天爷知道〉
32-19、20	文影解释，又悄声说，“我那个同	(文影は説明してからまた小声で、「私のあのクラ

	<p>学分在<u>上海工矿</u>了，他是独子，特殊照顾。” 上海工矿(zhánhāegònkuān)</p>	<p>スメートが上海の工場に配属された。彼は一人息子なので、特別な配慮をしてもらえた」と言った。) 上海工矿：上海の工場などを指す。 (文革時、高等学校の卒業生が上海に残って、勤務することを「上海工矿」と言い、その他の学生は殆ど「上山下乡、插队落户」、いわゆる下放されるということになっていました。)</p>
33-8、9	<p>端丽不觉感动了，但愿她能幸福。有一<u>桩</u>如意的婚姻，也可补偿其它的不足了。 桩(zàn)</p>	<p>(端麗は思わず感動し、是非彼女(義妹を指す)が幸せになれることを願っていた。思いどおりの婚姻ができれば、他の不足を補うこともできるからだ。) 桩：上記「28-15、16」に同じ。桩＝〈件〉</p>
33-14、15	<p>可妈妈还不回来烧饭，庆庆家里也不来接人。她把庆庆塞到妈妈怀里，背着语录包就走。端丽叫：“才六点，吃了饭再走。” “<u>不高兴</u>，晚了！”多多带着哭音嚷，还是跑掉了。她是最受不得一点委屈的。 烧饭(sàováo) 不高兴＝勿高兴(wègāoxīn)</p>	<p>(しかし、お母さんはまだご飯を作りに戻って来ず、慶慶ちゃんの家の人を迎えに来なかった。彼女は慶慶ちゃんを母の懷に押し込んで、語録用カバン(文革時、学生が使われる毛沢東語録や教科書を入れるカバンを指す)をかけてすぐ出て行った。端麗は「まだ6時なのに、ご飯を食べてから行ったら」と大声で言った。 「いやです、もう遅い！」と、多多は泣き声を出して大声を立てて出て行った。あの子は、誰よりも辛い思いをさせられない子だ。) 烧饭：ご飯を作る。烧饭＝〈做饭〉 不高兴：嫌である。不高兴＝〈不愿意〉</p>
33-22～24	<p>可是地上却只有一摊碎玻璃，一摊乳白色的水迹。一定是那些野孩子干的，他们常常来和张家<u>捣蛋</u>。在楼下大声喊“张文耀，<u>敲图章</u>！”让人白跑一趟。 捣蛋(dǎodhái) 敲图章(kàothúzhāng)</p>	<p>(しかし、地面にはひとたまりのガラスの破片とひとたまりの乳白色の水の染みだけがあつた。きっと何人かのしつけの悪い子がやったのだ。あの子らはしよっちゅう張家にいたずらをしに来て、建物の入り口で、大声で、「張文耀さん、印鑑お願いします！」と呼び、無駄足をさせられる。) 捣蛋：いたずらをする。捣蛋＝〈捣乱〉 敲图章：印鑑を押す。敲图章＝〈盖章〉</p>
35-7、8	<p>端丽猛地想起了牛奶，不由抬手拍了拍脑袋：“牛奶被<u>小赤佬</u>敲碎了。咪咪，你快吃早饭，吃过了到食品店门口排队买一瓶，去晚了就买不到了。” 小赤佬(xiǎochìlǎo)</p>	<p>(端麗は急に牛乳のことを思い出して、思わず手を持ち上げてちょっと頭をたたいて、「牛乳はいたずら小僧たちに割られてしまった。咪咪よ、早く朝ごはんを食べて、済んだら食料品店の入り口に並んで一本買って来て下さい。遅いと買えなくなるから」と言った。) 小赤佬：いたずら小僧。小赤佬＝〈小淘气〉</p>
35-18、19	<p>咪咪把油条放在一边，光吃<u>酱瓜</u>，津津有味，很是馋人。 酱瓜(jiāngō)</p>	<p>(咪咪は揚げパンを横に置いて、漬物ばかり食べており、うらやましくなる位、とても美味しそうに食べていた。) 酱瓜：胡瓜や瓜の漬物。酱瓜＝〈咸菜〉</p>

35-20、21	端丽赶紧盛了小半碗泡饭，把油条撕碎，然后坐下来喂他。 泡饭 (pàováe)	(端麗は急いで少しお粥を入れて、揚げパンを細かくちぎってから座って坊やに食べさせていた。) 泡飯:お粥(残ったご飯で炊いたお粥風のような食べ物。)
35-20、21	“你怎么这样没用场?” 端丽哀怨地说。 用场 (yhiónzhán)	(「どうしてこんなにも役に立たないのですか」と、端麗は悲しみ情けなく言った。) 用場:役に立つ。没用場=〈不派用場〉
36-16、17	“我要买一双松紧鞋。” 多多说。目前，女孩子中间很流行男孩子穿的松紧鞋。 松紧鞋 (sònjīnhhá)	(「私はズック靴を買いたい」と多多が言った。今は、女の子にも男の子が履くようなズック靴がよく流行っている。) 松紧鞋:ズック靴。
37-3、4	她尝到了节约的乐趣，并且一发不可收拾，心心念念想着如何装填钱包。以至文耀也讽刺她是“葛朗台”。 葛朗台 (gèklándháe)	(彼女は節約の楽しみを覚え、その上、やり出したら止める事を知らず、一途に、如何にしてお金を貯められるかばかり気になる。(夫の)文耀さえも彼女の事を“グランデ”であると皮肉っぽく言っている。) 葛朗台:グランデ(人名)。(フランス作家バルザック(1799-1850)の作品『ウジェニ・グランデ』で描かれている守銭奴グランデのことを指す。文革時、守銭奴のことを「葛朗台」または【老葛 lǎo gèk】と比喻していた。) 葛朗台=〈吝嗇鬼〉
38-7、8	经济困难者，独生子女者，统统不予照顾，统统接受贫下中农再教育。 统统 (tòntòn)	(経済的に困難である人も、一人っ子もすべて特別な配慮をしてもらえず、みんな貧農や下層中農からの再教育を受けなければならない。) 统统:全部。统统=〈全部〉
38-9、10	回家商议，大家决定屏住不走。姆妈说“我已经把她养到十八岁，不信这会儿就少你一口饭。” 屏 (bīn) 姆妈(m 〈I 声〉 mà)	(家に戻ってから話し合った結果、みんなは、こらえることに決めた。お母さんは、「あの子を18歳まで育て上げてきた。いまとなって食べさせることができないなんて信じないわ」と言った。) 屏:こらえる。「屏住」は、結果補語を付加した用法。) 屏住=〈撑住〉 (「屏风」の場合は、「bhin」と発音する。) 姆妈:上記「29-14~17」に同じ。姆妈=〈妈妈〉
38-17~19	她虽不大晓得外面的形势，但看他那破破烂烂的一身便知他目前的地位不高，人人都可欺得。 晓得(xiāodek)	(彼女は社会情勢をあまり知らないが、しかし、彼のそのぼろぼろに破れている上下の服を見るだけでも、今、地位が高くなく、皆に馬鹿にされている者だと分かる。) 晓得:上述「31-19~23」に同じ。晓得=〈知道〉
39-12、13	端丽不忍心，收了起来，可是到最后，文影还要买十斤卷子面，端丽只好把扑满砸了。 卷子面(juēuzīmí) 扑满 (pākmēu)	(端麗は忍びがたくて保管していたが、しかし最後になって、文影がまた5キロの乾燥面を買いたがっているの、端麗は貯金箱を割るしか仕方がなかった。) 卷子面:巻かれた乾燥面。

		扑满：一杯入った物。(ここでは、一杯入っている貯金箱のことを指す。)
40-2、3	公公也去送了，他以为文影走有他的责任。如果他当年不做老板，只老老实实当一生伙计，文影就可以 <u>屏</u> 到底。 屏(bīn)	(義父も見送りに行った。義父は文影が下放されたのが自分のせいであると思込んでいる。もし当初、経営者にならず、ただおとなしく一生店員にでもなれば、文影は最後まで持ち堪えることができたのだ。) 屏：上記「38-9、10」に同じ。 屏到底＝〈坚持到底〉
40-7～10	“爹爹，你不要说这个话，我们都享过你很多福。” 公公不响。 “爹爹，你别忒担心了。文影很娇，没出过门，想得很骇人。也许真到了那里也不过如此。” 响(xiān) 忒(tè) 骇人(hàirén)	(「お父さん、このようなことをおっしゃらないで下さい。私たちはみんなお父さんの福を沢山頂きました」と。 義父は黙っていた。 「お父さん、あまり心配しないで下さい。文影はお上品で、家を離れたことがなかったから、怖いと思っています。本当に向こうに着けば別に大したことはないかもしれませんと。) 响：上記「31-18」に同じ。不响＝〈不作声〉 忒：上記「29-8、9」に同じ。忒＝〈太〉 骇人：怖い。骇人＝〈可怕〉
40-12～16	公公却又道：“端丽，我看你这两年倒有些锻炼出来了。我这几个孩子不知怎么，一个也不像我。许是我的钱害了他们。他们都不会，只会花钞票。……” 钞票(cāopiào)	(しかし、義父はまた、「端麗、ここ数年間お前は少し鍛えてきた。私の何人かの子どもはどういう訳か一人も私に似ている子がいない。私の金がこの子たちを苦しめたかもしれない。子どもたちは、お金を費やす以外は、何もできない。…」と言った。) 钞票：お金。钞票＝〈钱〉
40-20	端丽不知道该怎么 <u>答腔</u> ，不响。 答腔(dakqiàn) 响(xiān)	(端麗はどうやって答えたら良いかが分からず、黙っていた。) 答腔：答える。答腔＝〈回答〉 响：上記「31-18」に同じ。不响＝〈不作声〉

【参考資料】

「日本語」

榎本英雄／范晓 著『エクスプレス上海語』(白水社)1996年4月5日第6刷

宮田一郎 編著『上海語常用同音字典』光生館出版、昭和63年9月10日初版発行

「中文」

阮恒輝 著『上海話教程』上海辞書出版社、2014年8月

錢乃榮 編著『上海話大詞典』上海辞書出版社、2008年4月第5版

丁迪蒙 著『学說上海話』上海科技文献出版社、2015年1月第2版

【参考文献】

張新穎、金理 編『王安憶研究資料』(上)(下)天津人民出版社、1996年

「王安憶作品」

『海上繁華夢』王安憶自選集之一・中篇小說卷、作家出版社、1996年